

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	比較的要介護度の高い利用者が入居しているため、意思疎通困難な方や転倒のリスクが高い。安全を重視するあまり、身体抑制になる行為を無意識に行う危険性がある。	身体抑制の意義、内容を理解、ケアの中で実践する事が出来る。(やっていけない事を理解できる)	1・身体抑制をしてはいけない事の原因・制度説明。 2・事例検討会を通し、対策も考える事が出来るよう取組んでいく。	12ヶ月
2	13	火災がおいた場合の火災報知機の使用方に不安のある職員もいる。万が一の場合にすべての職員が出来るよう周知徹底の必要がある。	火災報知機の使用方法を習得する。また、かさいげんばを想定した場合の避難経路をシュミレーションで切ようになる。	1・週1回、朝礼時に火災報知機の使用方法を説明する。 2・火災現場を指定した時に、避難経路が応られるように指導する	12ヶ月
3	18	グループホーム全員での外出予定を企画する事が多かった。個々の希望や楽しみを聞き、本人の希望を取り入れた外出を心掛ける。	利用者のニーズに合わせ、個別で外出する機会を作る。 (思い出の場所に職員と出かける・誕生日に食事に出かけるなど)	1・思い出の場所に職員と出かける 2・誕生日に食事に出かける。 3・家族にも働きかけていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。